

「機械工学実験Ⅱ」の成績評価基準表

A: 定期試験	学籍番号	
B: 課題レポート	氏名	
C: その他(グループディスカッション)		

授業目標	到達基準			評価割合(100%)		
	未到達基準(0~5)	標準基準(6, 7)	優秀基準(8~10)	A	B	C
				%	90%	10%
1. 実験の成果を報告書としてまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 報告書に目的, 方法, 結果, 考察, 参考文献など必要な内容が記述されていない。または期限内に提出できない。	<input type="checkbox"/> 報告書に目的, 方法, 結果, 考察, 参考文献など必要な内容が記述されており, 期限内に提出することができる。	<input type="checkbox"/> 報告書に目的, 方法, 結果, 考察, 参考文献など必要な内容が十分に網羅されており, 期限内に提出することができる。		10	
2. ワープロ, 表計算ソフト等を利用して資料を処理することができる。	<input type="checkbox"/> ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を処理できない。	<input type="checkbox"/> ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を処理し, 図表によって報告することができる。	<input type="checkbox"/> ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を正確に処理し, 明快な図表によって報告することができる。		10	
3. 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を抽出することができる。	<input type="checkbox"/> 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を抽出することができない。	<input type="checkbox"/> 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を抽出することができる。	<input type="checkbox"/> 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を正確かつ詳細に抽出することができる。		20	
4. 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を解析し, 目的に関連付けて工学的に考察することができる。	<input type="checkbox"/> 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を解析できず, 目的と関連付けて工学的に考察することができない。	<input type="checkbox"/> 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を解析し, 目的と関連付けて工学的に考察することができる。	<input type="checkbox"/> 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を正確に解析し, 目的と関連付けて工学的に考察することができる。		30	
5. 技術上の課題に対して有効な手法を提案できる。	<input type="checkbox"/> 技術上の課題に対して有効な手法を提案できない。	<input type="checkbox"/> 技術上の課題に対して有効な手法を具体的に提案できる。	<input type="checkbox"/> 技術上の課題に対して有効な手法を具体的に詳細に提案できる。		10	
6. 実験の内容や結果について議論することができる。	<input type="checkbox"/> 実験の内容について理解しておらず, 議論することができない。	<input type="checkbox"/> 実験の内容について理解しており, メンバー全員で結果について定性的に議論することができる。	<input type="checkbox"/> 実験の内容について深く理解しており, メンバー全員で結果について定量的に議論することができる。			10
7. 工学技術に関する具体的な課題にチームで取り組む際、チーム内の自分の役割を把握して行動し、担当業務の進捗状況をメンバーに報告できる。(E1-3)	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割を把握できず, 行動できない。 <input type="checkbox"/> 担当業務の進捗状況をメンバーに報告できない。	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割を把握して, 行動できる。 <input type="checkbox"/> 担当業務の進捗状況をメンバーに報告できる。	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割を把握して, 積極的に行動できる。 <input type="checkbox"/> 担当業務の進捗状況をメンバーに報告でき, 全体の進捗状況も把握できる。		10	
備考						